

小学校にて「火災の知識を深める授業」を実施しました。

株式会社パロマ（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：小林弘明）は、2月3日（火）、名古屋市消防局、名古屋市瑞穂消防署、株式会社名古屋グランパスエイトと連携し、「火災の知識を深める授業」を実施いたしました。



「火災の知識を深める授業」



消防署より、火災発生時の対応方法を学ぶ



実際にコンロを触ってみる

本取り組みは本年で5年目を迎え、地域における防火・防災意識の向上に継続的に貢献しております。今回は、名古屋市立穂波小学校の3年生および4年生、計91名を対象に開催しました。授業では、身近に潜む火災の危険性について理解を深めるとともに、万が一火災が発生した際の適切な初期消火の方法や通報手順、ガスこんろの誤った使用による危険性などについて学習しました。さらに、実際の消火器を使用した体験学習も行い、児童一人ひとりが防火の重要性を実感する機会となりました。



全員が消火器を体験



グランパスくんが手伝い



●URL・QRコード

<https://www.paloma.co.jp/vc-files/vs-files/csr/safety/pdf/boukahandbook.pdf>



『もしものための防火ハンドブック』

授業で活用した教材「もしものための防火ハンドブック」は、昨年9月1日の防災の日に、名古屋市立全265小学校の3年生および4年生約36,000人へ配布したものです。パロマは、ガス機器メーカーとしての社会的責任を果たすとともに、今後も防火・防災意識の向上に資する取り組みを継続してまいります。

引き続き、地域の皆さまと連携しながら、安全・安心な社会の実現に貢献してまいります。

以上

本件に関するお問い合わせ先

株式会社パロマ 広報室 : 052-824-5251 (直通)

内容は発表時のものです。ご覧になった時点で、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。